大造じいさんとガン

作品を自分なりにとらえ，朗読しよう（８時間）

◎　自分の思いや考えが伝わるように音読や朗読をすることができる。

○　優れた叙述について，自分の考えをまとめることができる。

◇大造じいさんとガン

椋鳩十 作
金子恵 絵

◇大造じいさんとガン

(P.103～107)

第一場面

1

○お話の登場人物

・大造じいさん

・残雪？

○お話の時期

○お話の場所

ガン（雁）

カモよりも大きい水鳥の一種。現在は、ガンを狩るのは禁止になっている。

1

○お話の登場人物

・大造じいさん

○お話の時期

・今から三十五、六年も前

○お話の場所

・栗野岳のふもとのぬま地

残雪

残雪とは、どんな鳥だろう。

残雪というのは、一羽のガンにつけられた名前です。左右のつばさに一か所ずつ、真っ白な交じり毛をもっていたので、かりゅうどたちからそうよばれていました。

残雪は、この沼地に集まるガンの頭領らしい、なかなかりこうなやつで、仲間がえをあさっている間も、油断なく気を配っていて、りょうじゅうのとどく所まで、決して人間を寄せつけませんでした。

頭領
りこう

大造じいさんは残雪のことを、どのように思っているだろう。

大造じいさんは、このぬま地をかり場にしていたが、いつごろからか、この残雪が来るようになってから、一羽のガンも手に入れることができなくなったので、いまいましく思っていました。

いまいましい

大造じいさんは残雪のことを、どのように思っているだろう。

大造じいさんは、思わず感嘆の声をもらしてしまいました。ガンとかカモとかいう鳥は、鳥類の中で、あまりりこうなほうではないといわれていますが、どうしてなかなか、あの小さい頭の中に、たいしたちえをもっているものだなということを、今さらのように感じたのでありました。

感嘆

大造じいさんとガン
第一場面

名前

大造じいさんは残雪のことを、どのように思っているだろう。

・いまいましく思っていました
・感嘆の声をもらしてしまいました
・たいしたちえをもっているものだなということを、今さらのように感じた

まとめると…

（　　）は、（　　）に対して（　　）と思っていたが、同時にたいしたちえをもっているものだなと（　　）していた。

（　　）に入ることばをえらびましょう。

残雪　がん　大造じいさん
はら立たしい　おもしろい
期待　感心　信用